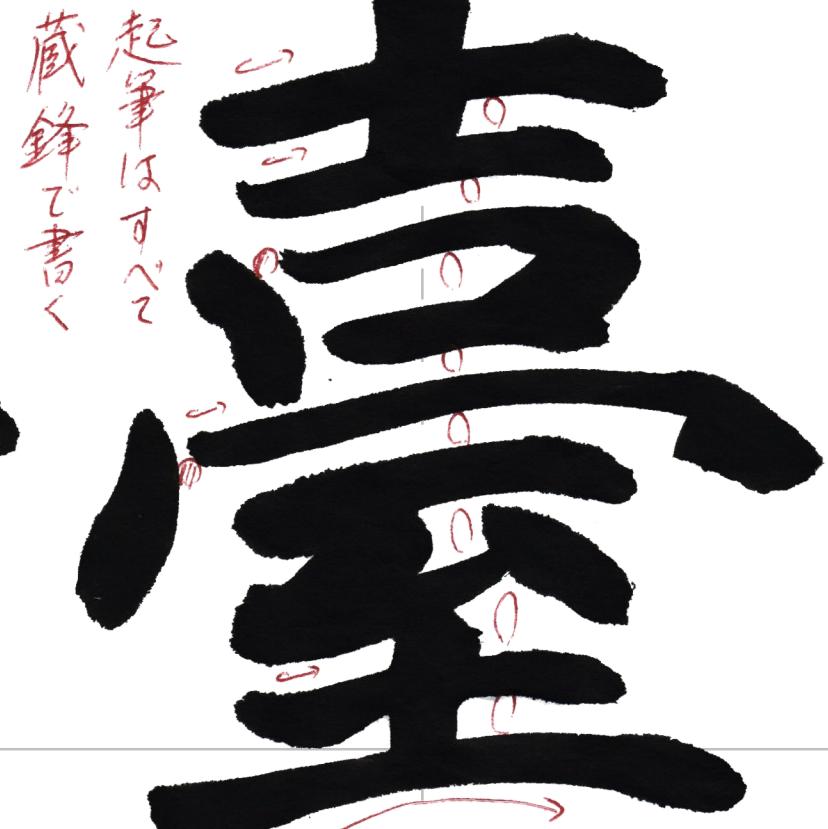


段級



(王禹偁)

臺閣群英有り
たいかくぐんえいあり

徐々に筆圧を
かげて

ゆったりと
長く右払は太く

書は行書の筆意を帶びた楷書。
点画の間は軽妙な細い線で、
ゆったりとしていて、粘り、抑揚がある。

雁塔聖教序・唐時代、褚遂良の
楷書で書いています。

がんとうしょぎょうのじよ

ちよすいりょう